

「楽しいPTA、楽しむPTAの活動で、つながりを」

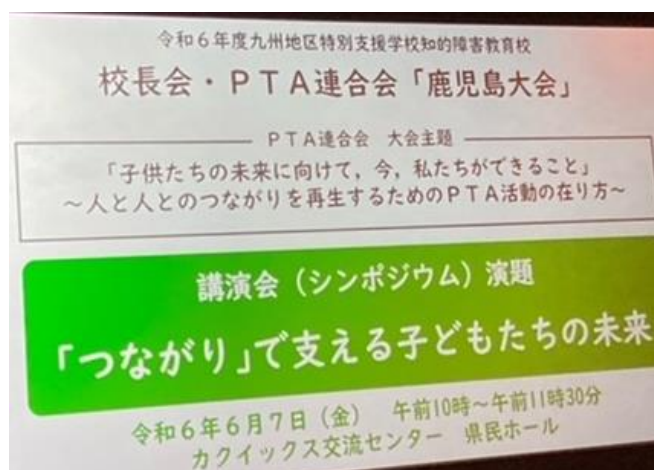
令和6年度九州地区特別支援学校知的障害教育校 校長会・PTA 連合会 鹿児島大会に行ってきました。
参集型での開催は、実に5年ぶり(ちなみに5年前は長崎大会)で、九州各県から200名を超える参加がありました。

大会テーマは、「子どもたちの未来に向けて、今、私たちができること ～人と人とのつながりを再生するためのPTA活動の在り方～」でした。コロナ禍による活動自粛が徐々に解除されていくなかで、PTA活動も「つながりを再生するための活動の在り方を考えよう！」とするフレーズはとても印象的でした。

鶴南も、学校と保護者でPTA活動へのつながりをどう充実させていくか、という課題意識を共有して、昨年度から3か年計画で規約改正などに挑んでおります。もちろん、その根底にある理念は、子どもたちの学校教育を支えるため、楽しいPTA、楽しむPTAの活動を、どのように展開していくか、役員や保護者の皆さまと積極的に意見交換を進めているところです。

鹿児島大会を締めくくるシンポジウムでは、鹿児島県の障害者職業センター、就業・生活支援センター、相談支援事業所、福祉施設の代表者が登壇され、「つながりで支える子どもたちの未来」と題し、それぞれの社会資源が担う機能や役割の説明がありました。まずは、そのことを我々が知ることが、つながる大切なポイントであると感じました。

帰路の九州新幹線で、本校PTA会長から「他県には、本校がめざしている楽しいPTA、楽しむPTAの活動のお手本がいろいろとある。」と教えてもらいました！



もっと自由な発想と挑戦を楽しむ境地で鶴南の教育を創る
- 「R6年度 学校運営方針」でめざす! -